

すめらみこと 天皇、酒を節度使の卿等に賜ふ御歌一首  
あは 併せて短歌

九七三番

食す国の遠の朝廷に 汝等が かく罷りなば  
平けく 我は遊ばむ 手抱きて 我はいまさむ  
天皇朕 珍の御手もち かき撫でそ ねぎたまふ  
うち撫でそ ねぎたまふ 帰り来む日に 相飲ま  
む酒そ この豊御酒は

反歌一首

九七四番

ますらをの 行くといふ道そ 凡ろかに 思ひて  
行くな ますらをの伴